



Green Frontier
環境モデル都市 北九州市

©ていたん,北九州市

平成23年12月22日

環境局環境未来都市推進室

スマートコミュニティ担当課長 柴田

スマートコミュニティ担当係長 須山、越智

TEL : 582-2238

「北九州スマートコミュニティ創造事業」 地域節電所の取材について

現在、八幡東区東田地区を中心に実施している「北九州スマートコミュニティ創造事業」は、平成24年度からの本格実証開始に向け、地域節電所やスマートメータの設置等の準備を進めているところです。

現在、九州ヒューマンメディア創造センターにおいて、地域エネルギーマネジメントシステムを中心とする地域節電所の設置工事を進めています。

つきましては、設置工事の一部が完了した時点で、下記のとおり報道機関に公開いたします。

1 報道機関公開の概要

(1) 日時： 平成23年12月26日(月) 10:00~11:00

(2) 場所： 九州ヒューマンメディア創造センター 206号室

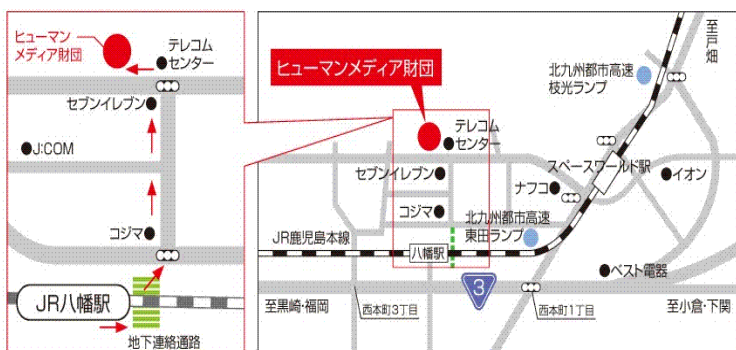
北九州市八幡東区東田1-5-7

(北九州スマートコミュニティ創造事業 地域節電所 予定地)

(3) 公開内容：地域節電所に設置するCEMS(クラスター・エネルギー・マネジメント・システム)の大型ディスプレイ、サーバー、操作端末等

(4) 設置事業者：富士電機(株)

九州ヒューマンメディア創造センターへのアクセス



地域節電所イメージ



2 北九州スマートコミュニティ創造事業

(1) 概要

北九州市八幡東区東田地区は、平成22年度に経済産業省から「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に指定され、国や北九州市の今後の成長を目指し、不安定な再生可能エネルギーが大量導入された社会のスマートグリッドを構築することにより、一般街区と比較してCO2を50%削減したまちづくりの実証に取り組んでいます。



(2) 地域節電所

不安定な再生可能エネルギーの大量導入された社会の中で、地域内の家庭やオフィスの電力需要を予測・監視し、また、再生可能エネルギーの発電量を予測・監視しながら、コミュニティ設置型の大型蓄電池やダイナミックプライシングにより地域内の電力系統の需給バランスの調整を行います。



(3) スマートメータ

各家庭やオフィスに設置される次世代型の電力量計で、地域節電所との間での通信機能を備えることで遠隔検針が可能となります。本実証事業で用いるスマートメータは、宅内表示装置がセットとなり、電力の使い方の情報を見ることができます。



(4) 大型蓄電池 (300kw)

東田地区の電力系統に直接接続することで、再生可能エネルギーからの逆流により発生する不安定な電圧を解消し、地域の電力系統の安定化を図ります。

(5) BEMS/HEMS/FEMS*

ビルや家庭、工場など地域内の各施設に設置し（実証事業内では、22社程度）、地域節電所と通信機能で接続し、CEMS から気象データやダイナミックプライシングの情報を、BEMS/FEMS からは需要計画情報を送受信することで、各施設が地域節電所と連携したエネルギーマネジメントを行ないます。

※HEMS (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)
BEMS (ビルディング・エネルギー・マネジメント・システム)
FEMS (ファクトリー・エネルギー・マネジメント・システム)

3 今後の主なスケジュール

★：報道機関への公開予定時期

	H23/12月	H24/1月	2月	3月	4月
地域節電所	機器設置・調整 ★		HEMS/BEMS/ FEMS連携テスト	実証準備	実証開始
スマートメータ			機器設置・調整	★ データ収集	実証開始
大型蓄電池 (300kw)		制御盤設置・調整	地域節電所連携テスト	実証準備	実証開始
	蓄電池開発		蓄電池設置 ★		
BEMS HEMS FEMS		HEMS/BEMS/ FEMS設置・調整 ★	CEMS 連携	実証準備	実証開始